



# 公開シンポジウム「農・食・健に関する国際フォーラム」 Global Forum on Food, Agriculture and Quality of Life



医療費高騰や生活習慣病への対応ならびに食料の安定供給と健康な食生活の確保のために、医食同源による農業・食品分野と医療・健康分野の連携と協働が世界共通の課題となっています。静岡県は、温暖で美しく豊かな自然環境に恵まれ、健康寿命が世界の水準にあります。日本有数の農業生産地であると同時に茶や温州みかんなどの多様な機能性農産物も産出し、また多くの食品企業が集積しています。これらの基盤の上に、先進的な「農・食・健」連携プロジェクトが推進され、平成28年には医農連携のアグロメディカルフーズ研究機構が組織されました。静岡県におけるこれら「農・食・健」連携の取り組みを発展させるべく、AIや光計測技術など先端科学の農業分野への応用事例や国際的観点から医農連携の先端研究事例を紹介し、食品の生産・流通・消費に関わる多くの人々に向けて広く発信することを目的として、表題の国際フォーラムを開催します。

日時 平成29年3月21日(火)10:00～17:30

場所 静岡県沼津市ふじのくに千本松フォーラム  
(プラサヴェルデ)コンベンションホールB

主催 日本学術会議・農業情報システム学分会  
静岡県

後援予定 (一社)アグロメディカルフーズ研究推進機構,  
慶應義塾大学, 理化学研究所, 京都府立医科大学,  
東京農工大学, ほか

参加費 無料, 事前登録

連絡先 「農・食・健」国際フォーラム事務局  
(静岡県経済産業部農業戦略課内)

電話:054-221-2659 FAX:054-221-2839

E-MAIL:nougousen@pref.shizuoka.lg.jp



提供:静岡県観光協会

## プログラム

10:00 開会の挨拶

難波 喬司(静岡県副知事)

澁澤 栄(日本学術会議会員, 東京農工大学教授)

【午前の部:静岡県における先端農業の課題と展望】10:10-12:30

座長 細谷 勝彦(静岡県経済産業部農業戦略課長)

光計測技術を活用した次世代栽培システム(仮)

和田 智之(理化学研究所光量子技術基盤開発グループディレクタ)

Allによる農芸品の栽培技術継承(仮)

神成 淳司(内閣官房副政府CIO, 慶應義塾大学環境情報学部准教授)

食材の機能性成分の変動と食改善レシピ開発(仮)

市川 陽子(静岡県立大学食品栄養科学部准教授)

静岡県の農業版オープンイノベーション・プラットフォームの取組(仮)

吉田 茂(静岡県経済産業部理事(農業担当))

【午後の部:アグロメディカルフーズの課題と展望】14:00-17:30

座長 大下 誠一(日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

アグロメディカルフーズの課題と展望(仮)

吉川 敏一(京都府立医科大学学長, (一社)AMF研究機構理事長)

食品流通ビジネスの世界動向と日本農業の可能性(仮)【同時通訳】

バナハト マーク(AGビジネスコンサルタント社長, 米国ミズーリ州)

健康増進と疾病予防に貢献する生理活性薬用物質(仮)【同時通訳】

ス ヨンジュン(ソウル国立大学薬学部教授, 微環境腫瘍中核研究センター長)

食品機能性研究の現状と医食農連携の課題(仮)

清水 誠(日本学術会議第二部会員、東京農業大学応用生物科学部教授)

地域包括ケアシステムにおける医と農の役割(仮)

宮田 俊男(日本医療政策機構理事, 内閣官房健康・医療戦略室戦略推進補佐官)

精密農業とアグロメディカルフーズ(仮)

澁澤 栄(東京農工大学大学院農学研究科教授)

閉会の挨拶

清水 浩(京都大学大学院農学研究科教授)

※ 先端農業の取り組みについてのポスター展示

※ 交流会 17:45～18:45 (予定)



## 公開シンポジウム「農・食・健に関する国際フォーラム」のご案内

Global Forum on Food, Agriculture and Quality of Life

医療費高騰や生活習慣病への対応ならびに食料の安定供給と健康な食生活の確保のために、医食同源による農業・食品分野と医療・健康分野の連携と協働が世界共通の課題となっています。静岡県は、温暖で美しく豊かな自然環境に恵まれ、健康寿命が世界一の水準にあります。日本有数の農業生産地であると同時に茶や温州みかんなどの多様な機能性農産物も産出し、また多くの食品企業が集積しています。これらの基盤の上に、先進的な「農・食・健」連携プロジェクトが推進され、平成28年には医農連携のアグロメディカルフーズ研究機構が組織されました。静岡県におけるこれら「農・食・健」連携の取り組みを発展させるべく、AIや光計測技術など先端科学の農業分野への応用事例や国際的観点から医農連携の先端研究事例を紹介し、食品の生産・流通・消費に関わる多くの人々に向けて広く発信することを目的として、表題の国際フォーラムを開催します。

**主 催** 静岡県

日本学術会議食料科学委員会農業情報システム学分科会

**後 援** (一社)AMF研究機構, 京都府立医科大学, 東京農工大学, 慶應義塾大学, 理化学研究所, 県内各関係機関等, 関連学協会(すべて予定)

**日 時** 平成29年3月21日(火)10:00~17:30

**場 所** 静岡県沼津市ふじのくに千本松フォーラム(プラサヴェルデ)  
コンベンションホールB

**参加費** 無料, 事前登録

**登録・連絡先** 「農・食・健」国際フォーラム事務局  
(静岡県経済産業部農業戦略課内)  
電話:054-221-2659 FAX:054-221-2839  
E-MAIL:nougyousen@pref.shizuoka.lg.jp

※ 先端農業の取り組みについてのポスター展示等予定

※ 交流会 17:45~18:45(予定)

## プログラム

10:00 開会の挨拶

難波 喬司(静岡県副知事)

澁澤 栄(日本学術会議第二部会員、東京農工大学大学院農学研究院教授)

【午前の部:静岡県における先端農業の課題と展望】

座長 細谷 勝彦(静岡県経済産業部農業戦略課長)

10:10 光計測技術を活用した次世代栽培システム(仮)

和田 智之(理化学研究所光量子工学研究領域光量子技術基盤開発グループ  
グループディレクタ)

10:40 AIによる農芸品の栽培技術継承(仮)

神成 淳司(内閣官房副政府CIO, 慶応義塾大学環境情報学部准教授)

11:10 食材の機能性成分の変動と食改善レシピ開発(仮)

市川 陽子(静岡県立大学食品栄養科学部准教授)

11:40 静岡県の農業版オープンイノベーション・プラットフォームの取組(仮)

吉田 茂(静岡県経済産業部理事(農業担当))

【午後の部:アグロメディカルフーズの課題と展望】

座長 大下 誠一(日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

14:00 アグロメディカルフーズの課題と展望(仮)

吉川 敏一(京都府立医科大学学長, (一社)AMF 研究機構理事長)

14:20 食品流通ビジネスの世界動向と日本農業の可能性(仮)

バナハト マーク(AGビジネスコンサルタント社長, 米国ミズーリ州)

14:50 健康増進と疾病予防に貢献する生理活性薬用物質(仮)

ス ヨンジュン(ソウル国立大学薬学部教授, 微環境腫瘍中核研究センター長)

15:20 食品機能性研究の現状と医食農連携の課題(仮)

清水 誠(日本学術会議第二部会員、東京農業大学応用生物科学部教授)

15:50 地域包括ケアシステムにおける医と農の役割(仮)

宮田 俊男(日本医療政策機構理事, 内閣官房健康・医療戦略室戦略推進補佐官)

16:20 精密農業とアグロメディカルフーズ(仮)

澁澤 栄(日本学術会議第二部会員、東京農工大学大学院農学研究院教授)

16:50 - 17:25 総合討論

17:25 閉会の挨拶

清水 浩(日本学術会議連携会員、京都大学大学院農学研究科教授)